

そなえる ふくしま

ぼうさいじゅく

防災教室

教員用マニュアル

小学生向け

水害・土砂災害編



福島県

① 「そなえるふくしま防災塾」とは？

過去に発生した災害の特徴や、災害から命を守るための知識、心構えを学べる防災動画教材です。

「3.11」を知らない子どもたちが増え、また、災害が頻発化・激甚化する中、より多くの子どもたちに防災への理解を深めてもらうために、教員の声を反映しながら制作しました。


教員編

1コマの授業（45分）での視聴を想定した動画教材！動画視聴とワークシートへの記入で授業が完結！

教員用マニュアルがあるから、防災に関する専門的な知識がなくとも防災教育を実施できる！

年齢や災害種別に応じた複数の動画教材を用意！それぞれ5分程度短縮した「ショート版」も！

小学生向け 地震・津波編	小学生向け 水害・土砂災害編
中高生向け 地震・津波編	中高生向け 水害・土砂災害編

希望するセクションの個別再生もOK！時間の都合に合わせて防災教育を展開可能！

（個別再生の例）

```

graph LR
    A[ステップ1  
はじめに] --> B[ステップ2  
過去の災害を  
知ろう]
    B --> C[ステップ3  
被災者の話を  
きこう]
    C --> D[ステップ4  
防災VRを  
みよう]
    D --> E[ステップ5  
防災について  
学ぼう]
    E --> F[ステップ6  
まとめ]
  
```

※ステップ4、ステップ5のみを再生し、児童同士の対話や意見交換、発表に時間を長めに配分することも可能！

ここがポイント！


動画を視聴し、学んだことや考えたことをワークシートに記入し、発表したり話し合ったりすることで理解が深まる！

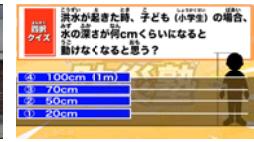


災害を疑似体験できるVR映像やクイズを収録！命を守る知識を楽しく学べる！



洪水が起きた時、子ども（小学生）の場合、水の深さが何cmくらいになると危なくなると思う？

A 100cm (1m)	B 70cm	C 50cm	D 20cm
--------------	--------	--------	--------



被災した当时、小学生だった方の生の声も収録。児童の視点から災害を考え、「自分事」として感じられる構成！




② 実施前にしていただくこと

3ステップで準備が完了！負担感なく実施いただけます。

STEP 1

特設サイトから教材一式を入手

（いつでも、ワンストップで入手！）

- 動画教材（YouTube動画の再生／MP4ファイル）
- 教員用マニュアル（PDF／Word）
- ワークシート（PDF／Word／Googleドキュメント）

STEP 2

教員用マニュアル（このマニュアル）を確認

動画の構成、進行例をチェック！
※詳細は2～3ページをご覧ください。

STEP 3

ワークシートを児童へ配布

方法① データを印刷して配布
方法② タブレット端末を活用してデータ共有

動画を再生し、スタート！

特設サイト



そなえるふくしま防災塾

ワークシート



2

実施の流れ



I. 動画の構成 で動画教材の全体像をつかんだ上で、**II. 進行例**（→ 3 ページ）を参考にしながら実施することをおすすめします。

I. 動画の構成

（通常版）

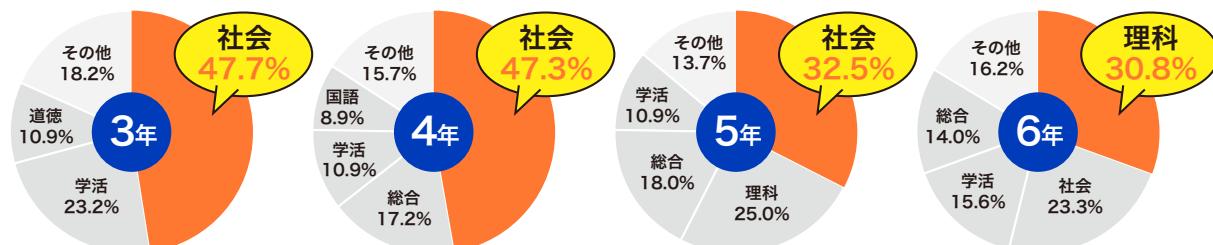
セクション	画面イメージ	再生時間 (計約29分)	内 容
ステップ1 はじめに		約2分50秒	●プロローグ
ステップ2 過去の災害を 知ろう		約3分40秒	●福島県で発生した主要な災害について学ぶ。 ●令和元年東日本台風の被害の大きさを学ぶ。
ステップ3 被災者の話を きこう		約4分20秒	●小学2年生の時に令和元年東日本台風で被災した男性の話を聴き、災害を「自分事」として感じ、命を守ることの大切さを学ぶ。
ステップ4 防災VRを みよう		約5分10秒	●福島県防災VR映像を視聴し、適切な行動を学ぶ。
ステップ5 防災について 学ぼう		約11分40秒	●水害・土砂災害から命を守るための具体的な方法を学ぶ。 ①早めに避難する ②避難情報を確認する ③ハザードマップを確認しておく ④山にも近づかない
ステップ6 まとめ		約1分30秒	●学習内容のおさらい ●エピローグ

※ステップ1からステップ6まで通して視聴することをおすすめしますが、希望するセクションを個別に再生しても差し支えありません。

「防災教育」はどの時間に行われている？

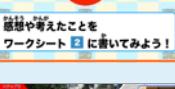


小学3年生、小学4年生、小学5年生では**社会が最も多く**、小学6年生では**理科が最多**です。
学級活動や総合的な学習の時間、道徳の時間にも多く行われています。



出展：令和6年度防災教育実施教科等調査（調査主体：福島県教育庁）

II. 進行例 (通常版)

時間の目安	セクション	画面イメージ	一時停止ポイント・発言例
授業開始前		●動画の再生環境（画面、音声、通信）は問題ないか。 ●児童にワークシートを配布（紙による配布/タブレット端末によるデータ共有）したか。	
0:00		「今から〇〇(教科名)の授業を始めます」 「今日のテーマは『防災』。『災害から命を守ること』について考えていきます」 「これから動画を観てもらいます。良い姿勢でモニターを観てください。それでは、スタートします」	
1:00	ステップ1 はじめに		声掛けの後、動画再生  ※特段、対応することはありません。
3:50	ステップ2 過去の災害を 知ろう		※特段、対応することはありません。
7:30	ステップ3 被災者の話を きこう		II ここで一時停止！ 「みなさんはどうな気持になりましたか。感想や考えたことをワークシートの①に書いてみましょう」 ※2分程度、記入の時間をとった後 「書けましたか。今の気持ちを忘れないようにしましょう」 ※教員自身、被災経験があれば簡潔に話す。
11:50			声掛けの後、動画再生 
14:00	ステップ4 防災VRを みよう		II ここで一時停止！ 「みなさんはどうなことを考えましたか。感想や考えたことをワークシートの②に書いてみましょう」 ※2分程度、記入の時間をとった後 「書けましたか。正しい避難行動について分かりましたね」
19:10			声掛けの後、動画再生 
21:30	ステップ5 防災について 学ぼう		ステップ5は、ワークシートへの重要語句の記入が3回あります。 左の画面が表示されたら II 一時停止 し、ワークシートへの記入を促してください。
			記入を確認し、動画再生 
34:40	ステップ6 まとめ		※特段、対応することはありません。
36:10			「いかがでしたか。この動画を観て考えたことや、これから取り組んでみたいと思ったことをワークシートの④に書いてみましょう」 ※ワークシート記入後、残り時間に応じて以下を実施する。 ●代表児童による意見発表 ●児童同士による意見交換 ●グループ内での意見交換
43:00			「今日は『防災』、『災害から命を守ること』について学んできました」 「この動画は、特設サイトから誰でも見ることができます」 「ぜひ、お家に帰った後、お家の人と観て、命を守ることについて一緒に考えてみてください」

3

実践的・発展的な学びにするために

- 👉 本動画教材を使った学習の前後に、ハザードマップの確認や避難訓練、まち歩きなどを行うと、より実践的な学びにつながり、児童が主体的に考え、行動する能力が高まることが期待されます。
- 👉 学校や地域の状況に合わせて実践してください。

① ハザードマップの確認

- 💡 自分たちの住む地域のハザードマップを見て、自宅や学校などがどこにあるか、どのような危険があるかを確認します。
- 💡 ハザードマップには避難所も載っています。自宅から、どのルートを通って避難所に行くかを日頃から考えておくことが大切です。



② 避難訓練

- 💡 災害発生を想定した避難訓練を行い、適切な避難行動を学びます。
- 💡 本動画教材で学んだこと（学ぶこと）を訓練で実践することで、学びが定着するとともに、判断力や行動力が高まると期待されます。



③ まち歩き

- 💡 実際にまちを歩き、災害が起きたときに危険な場所を確認します。
- 💡 まち歩きを通して発見したことを地図に書き込んだり、発表したりすると学びが深まるでしょう。



こんなツールも！

そなえるふくしまノート

防災ガイドブック

家族で確認しよう

室内の備え

BEFORE AFTER

そなえるふくしまノート 教本

「自動」と「共助」や「思いやり」の大切さを教えましょう。

そなえるふくしまノート教本

「そなふくノート」の指導ガイド。指導のポイントや豆知識が記載されています。



福島県の過去の災害はこちら

県内における主要災害

ふくしま復興情報ポータルサイト